

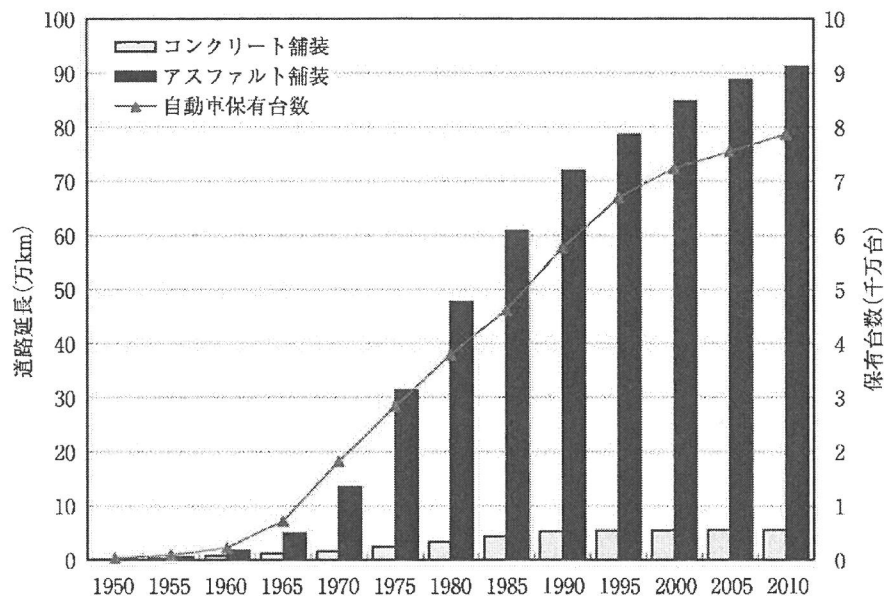
## Q-0202 コンクリート舗装の施工実績はどのくらいありますか？

わが国では、大正時代に近代的な舗装が開始され、その歴史は90年になる。昭和30年頃まではコンクリート舗装が主流であったが、その後はアスファルト舗装に代わっていった。昭和25年以降、自動車保有台数が飛躍的に増加し、それに合わせて第1次～第12次道路整備5ヵ年計画が進められ、平成23年の日本の舗装延長は簡易舗装を含めると約978,093kmに達している（下表参照）。そのうち5.6%程度がコンクリート舗装となっている。1950年からの道路延長および車の保有台数の推移を下図に示す。

表 道路の実延長（道路統計年報2012より）

[km]

区分	舗装道		簡易舗装	未舗装道	合計
	セメント系	アスファルト系			
高速自動車国道	439.7	7480.5	—	—	7920.2
一般国道	2,124.2	48,364.0	4,297.2	329.1	55,114.4
都道府県道	1,732.6	79,651.7	43,510.4	4,448.3	129,343.0
市町村道	50,792.1	138,596.3	601,104.6	229,793.1	1,020,286.1
合計	55,088.6	274,092.5	648,912.2	234,570.5	1,212,663.7
	978,093.3				



道路延長および車の保有台数の推移（道路統計年報より）